

CONTENTS

● 一般社団法人音楽電子事業協会第11回通常総会報告、新役員紹介	1
● 令和4年度役員名簿・組織	2
● 令和4年度事業計画 委員会活動(案)	3~4
● MIDI検定オンライン化への取り組みについて	5~7

一般社団法人音楽電子事業協会 第11回通常総会報告

令和4年度も、一昨年からつづく新型コロナウイルスの感染拡大による移動制限等に対応する為、理事会・幹事会・第11回総会について、メール審議にて実施することと致しました。

令和3年度第3回理事会 / 第2回幹事会につきましては、令和4年3月25日に理事会議案書及び幹事会議案書を、事前にメールにて配布し、第1号議案 令和3年度 事業報告、第2号議案 令和3年度 収支決算(着地見込)、第3号議案 事業計画(案)、第4号議案 収支予算(案)、第5号議案 令和4年度役員選任(案)につきまして、4月4日までに理事・幹事より承認を頂き、メール審議を終了。令和4年度第11回通常総会に答申することが承認されました。

令和4年度第1回理事会・幹事会及び第11回通常総会についても、メール審議にて実施することとし、令和4年度第1回理事会 / 幹事会につきましては、令和4年5月13日に理事会・幹事会議案書をメールにて配布、5月20日までに承認を頂き、また、5月23日第11回総会議案書をメールにて配信 / 6月3日までに承認を頂きました。

今期は、幹事1名の交代があり、ご挨拶を頂きましたので、総会時の会長ご挨拶とともに掲載させていただきます。

AMEI 会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

第11回総会の開催にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

新型コロナウイルス感染症がなかなか収束せず、各委員会も引き続きオンラインでの開催が多くなっており、皆様には各種制約の中でもそれぞれ出来る形を模索しながら積極的に活動頂いておりますこと、心より感謝申し上げます。

昨今ではサステナビリティを重視する機運が世界的に高まっています。環境負荷低減に向け資源の無駄遣いをなくし、有害物質の使用を減らす等様々な取り組みが行われていますが、これらに加え私たちは、音楽文化が持続的に発展できるよう貢献していく必要があります。

混迷を深めるウクライナ情勢等社会不安が増す中で、心の豊かさを与える音楽への期待はこれまで以上に高まっており、またウィズコロナの新しい生活様式の中で音楽とのかかわり方にも新しい形が生まれてきています。このような変化に柔軟に寄り添った MIDI 規格の進化や知的財産権のあり方の追及等、AMEI に寄せられる期待もますます高まっているということができましよう。業界のさらなる発展に向け、皆様とともに課題の解決にあたっていきたいと考えます。

引き続きのご理解とご協力をお願いしつつ、ご挨拶に代えさせていただきます。



山浦 敦 会長

新任幹事のご紹介

株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス

ミュージックメディア部部长 播磨 洋介

皆さま方におかれましては、コロナ禍というこの未曾有の事態の中、大変なご苦労をされていることとお察しいたします。

さて、このたび前任者の異動にともない当協会の幹事に就任させていただくことになりました。ここに謹んでご挨拶申し上げます。

小職は、ヤマハ株式会社において、長い間海外事業にたずさわり、5度にわたるアジア駐在を経験、各国における楽器マーケティングや音楽教室の普及をしてまいりましたが、3年前に現職に着任いたしました。

弊社は、ヤマハグループの、楽譜出版事業、音楽コンテンツ配信事業、音楽出版事業、音楽プロダクション事業、レーベル事業といったソフト事業部門を集結して2007年に設立され、「人々に音楽体験を提供し、音楽・演奏のある心豊かな人生を支えること」を目標にしている会社です。その中のミュージックメディア部という部において、楽譜出版、音楽コンテンツ配信事業を担当しております。

世界はコロナ禍により新しい生活様式に変わっております。その中で「音楽の楽しみ方」も日々変化し、多様化してきております。我々も顧客ニーズにあった新サービスを企画・開発し、提供してゆかねばならないと日々強く感じておるところです。しかしながら、弊社単独ではできないことには限界があり、既存事業を変えるのはとても難しいのも事実です。

願わくば、優れた専門性を持つ会員の集まる AMEI というこの協会におられる皆さまから貴重なご指導をいただき、また可能であれば協会内での他会員様とのコラボレーションなどを通じて、1社では決して実現できなかったであろう、もしくは AMEI がなければ世の中に生まれなかったであろう、「新たな価値」を生み出し、社会に貢献できればと願っている所存です。

微力ではございますが、会員の皆様のご支援、ご指導を賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。



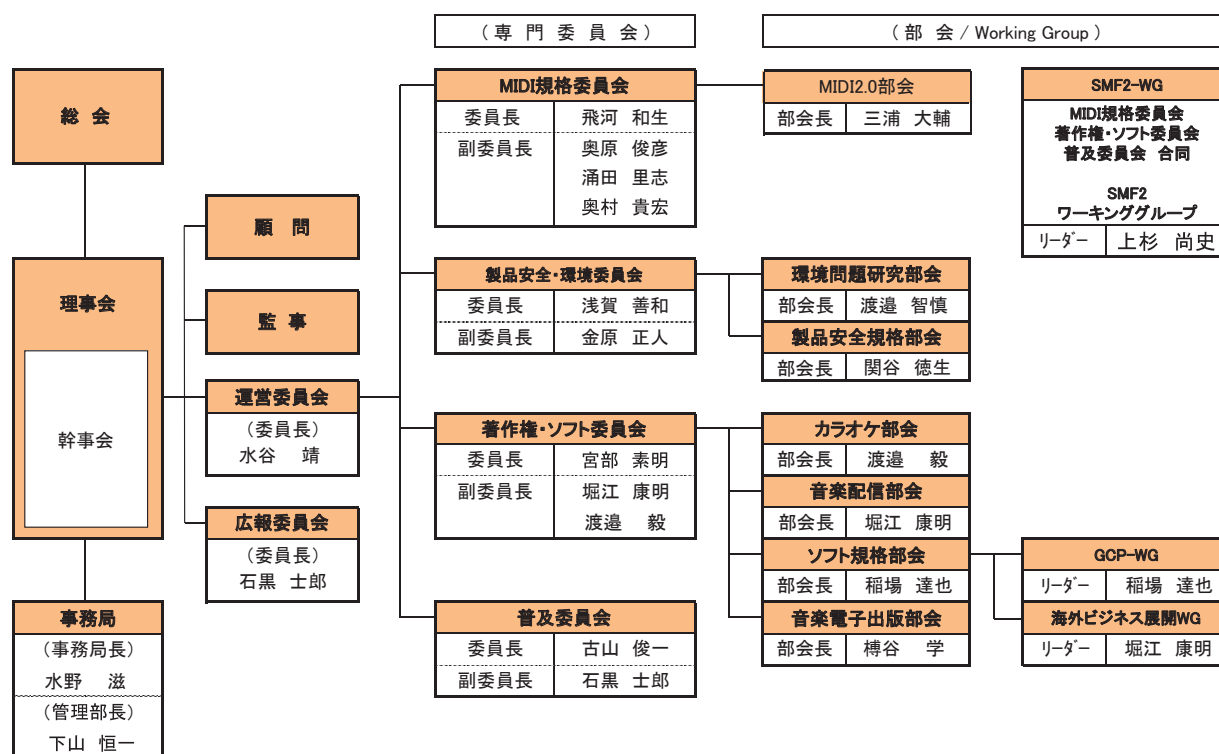
播磨 洋介 新任幹事

令和4年度 一般社団法人音楽電子事業協会役員名簿

理事会 幹事会役職	氏名	会社名	役職
会 長	山浦 敦	ヤマハ株式会社	執行役 楽器事業本部長
副 会 長	佐々木 隆一	株式会社ぶらあぼホールディングス	代表取締役
〃	水本 浩一	ローランド株式会社	基幹開発本部長
〃	渡邊 泰人	株式会社第一興商	常務執行役員
専務理事	水野 滋	一般社団法人 音楽電子事業協会	専務理事
常務理事	水谷 靖	株式会社エクシング	代表取締役社長
理 事	伊東 智子	株式会社コルグ	取締役
〃	中西 正人	株式会社フェイス	専務取締役
〃	林 龍太郎	カンオ計算機株式会社	開発本部 第一開発統轄部第三開発部長
〃	飛河 和生	クリムゾンテクノロジー株式会社	代表取締役
幹 事	白壁 依里	Apple Japan 合同会社	政務部部長
〃	鈴木 周司	株式会社鈴木楽器製作所	取締役
〃	辻 浩己	学校法人 尚美学園	法人本部長
〃	播磨 洋介	株式会社ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス	ミュージックメディア部部長
〃	箕輪 匡文	株式会社河合楽器製作所	取締役 執行役員
〃	村上 昇	株式会社インターネット	代表取締役
監 事	三木 康司	株式会社シーミュージック	代表取締役
〃	古山 俊一	尚美学園大学	名誉教授
顧 問	日吉 昭夫		

* 敬称略・50音順（常勤役員は専務理事のみ、他の役員は非常勤です。）

令和4年度 組織図 一般社団法人音楽電子事業協会



* 敬称略順不同

一般社団法人音楽電子事業協会

令和4年度事業計画 委員会活動(案)

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1 全体

以下各委員会活動は、定款（事業）第4条の各項に準ずるものとする。

2 製品安全・環境委員会

活動方針

製品安全規格・環境問題研究両部会での情報交換と、各法規制からの要求事項に対する解釈のレベル合わせのための活動を継続し、電子電気楽器及び関連機器製品の安全性確保と環境問題への対応推進を図る。

事業計画

「製品安全規格部会」：4月、7月、10月、1月
計4回開催を予定。

「環境問題研究部会」：4月、7月、10月、1月
計4回 原則第2火曜日開催を予定。
オンライン開催も考慮して行う。

活動テーマ

「製品安全規格部会」

- (1) 安全規格の動向調査
 - ・電気用品安全法省令、解釈及び規格
 - ・国際規格 (IEC)
 - ・北米規格 (UL, CSA)
 - ・欧州規格 (EN)
 - ・中国、韓国、台湾、ユーラシア関税同盟 (EAC)、その他各国
- (2) EMC 規制に動向調査
 - ・国際規格 (CISPR)
 - ・北米規格 (FCC, ICES)
 - ・欧州規格 (EN)
 - ・中国規格、韓国規格、その他
- (3) その他の動向
 - ・各国の省エネルギー制度
 - ・各国の電波法・無線規制
 - ・PL 関連情報

参加団体

- ・JEITA マルチメディア EMC 専門委員会
- ・JBMA 第108委員会
- ・電気用品調査委員会の電波雑音部会
- ・電気製品認証協議会

※電安法への要望窓口となる参加団体については引き続き調査をする。

「環境問題研究部会」

- (1) 化学物質規制・管理法関連の動向調査及び情報交換
 - ・EU RoHS, EU REACH
 - ・CN RoHS, UAE RoHS, EAEU RoHS
 - ・US TSCA, Proposition65
 - ・各国化学物質管理・規制法
- (2) 省エネルギー法・規制の動向調査及び情報交換

- ・EU エコデザイン規則
- ・各国待機電力規制
- (3) 廃棄物・リサイクル法関連の動向
 - ・WEEE・各国容器包装法
- (4) その他の動向
 - ・違法伐採・木材管理法関連 (CITES 含む)
 - ・難燃剤規制の動向 (EEE への波及)
 - ・サプライチェーンにおける情報伝達 (chemSHERPA など)

3 MIDI 規格委員会

活動方針

- 音楽や電子楽器に関する技術検討を行い、現状の問題解決及び新技術開発による将来の音楽事業発展に貢献する。

活動計画

- MIDI 規格委員会開催：メーリングリストでの審議を基本とし、必要に応じてオンラインにて開催予定。
- MIDI2.0 部会の開催：
 - ・隔月（4月、6月、8月、10月、12月、翌年2月）開催。コロナウイルスの状況によりオンライン、オンサイト開催を検討。
 - ・状況により、適宜、臨時部会を開催
 - ・イベント共催および参加：鋭意検討

事業計画

- MIDI2.0 市場発展をめざした標準化活動
- SMF2 WG との連携標準化活動
- 2022年の楽器フェアは2020年に引き続き、中止
- MIDI2.0 部会：
 - MIDI Association M2 WG と協力し、下記の詳細仕様を検討、審議
 - ・MIDI-CI Update
 - ・Profile (Piano Profile を中心として検討)
 - ・Protocol (追加規格に適宜対応)
 - ・Property Exchange (追加規格に適宜対応)
 - ・その他、M2 WG からの依頼に応じて議論実施
 - AMEI 内プロトタイプWGを継続、適宜 MA 側 Prototype WG と連携
 - MIDI2.0 の運用 (MIDI2.0 ロゴ活用、ガイドライン、市場への展開等) 検討
 - MIDI2.0 規格書の日本語訳継続
 - 新技術/新商品の評価、検討を通して音楽業界のニーズを探る

4 著作権・ソフト委員会

活動方針

1. 会員各社の事業運営における著作権に係る問題点等を解決すべく、関係団体と協力し権利者との協議や文化庁に対する要望申し入れ等を活発に行う。また、著作権法の改正を含む様々な環境変化の中で生じる不具合については、積極的に関係省庁、権利者、管理事業者等に問題提起を行う。

2. 定例会を通じ各部会それぞれが取り組んでいる課題と成果をタイムリーに情報共有しつつ、委員各位の意見を吸収し部会活動に反映させることにより、会員個々の事業の活性化と市場の発展に貢献する。

活動計画

委員会定例会 10 回（8 月、1 月を除く毎月第二木曜日）、音楽配信部会 15 回程度（管理事業者との協議や関連団体との意見交換含む）、ソフト規格部会 10 回程度、カラオケ部会 8 回程度、音楽電子出版部会 8 回程度

事業計画

【音楽配信部会】

1. 音楽配信に関わる問題点の情報交換・意見交換を著作権・ソフト委員会定例会の場にて実施すると共に、NMRC を通じ管理事業者との協議・関連団体との意見交換に反映させる。
2. NMRC 実務 WG を通じて、実務上の問題点解決にむけ、管理事業者、関連団体との意見交換を実施する。
3. 音楽配信部会での情報共有、意見の集約を積極的に行う。
4. スマートフォン関連コンテンツのビジネスや著作権についての意見交換を積極的に行う。
5. 関連部会や委員会との情報交換を密にし、部会での情報共有を行う

【ソフト規格部会】

1. MIDI 及び音楽関連ソフトウェア事業に関する情報交換、勉強会の実施。インターネットを始めとした新しいメディアにおける音楽電子事業の研究
 - ・著作権重要判決、紛争例の研究
 - ・クラウドと音楽ビジネス、AI の動向と楽器への影響に関する研究
 - ・音楽教育を守る会と JASRAC との訴訟動向に関する研究
 - ・改正著作権法に関する研究
 - ・文化審議会著作権分科会の審議動向に関する研究
 - ・適正な音楽利用に関する研究（楽曲の権利判定、JASRAC 使用料規程など）
2. ワーキンググループによる諸問題の討議、検討、規格化と実践
 - ・楽器内蔵コンテンツ等の保護に関する検討WG (GCP-WG) の開催
 - ・海外ビジネス展開WG の開催
3. その他、規格に関する問題、課題等の検討（随時）

【カラオケ部会】

1. 一般社団法人日本音楽著作権協会（JASRAC）との使用料規程第 10 節「業務用通信カラオケ」に関する継続協議
 - ・他の管理事業者が管理する楽曲の利用割合の反映に関する実務運用
 - ・非管理楽曲が使用されている実態を勘案した利用割合に関する協議
 - ・その他、使用料規程の取扱いに関する協議
2. 管理団体の使用料徴収の一元的集中管理等の検討
3. 株式会社 NexTone との使用料規程に関する継続協議
4. その他カラオケ事業にかかる案件

【音楽電子出版部会】

1. 電子楽譜サービスおよび電子歌詞サービスに関わる問題点を音楽電子出版部会内で情報交換・意見交換し、またこれらサービスに対して課される著作権使用料のあるべき姿を議論の上、権利者、使用者がともに十分に納得しうる使用料率案の策定につなげる

2. 音楽電子出版部会での情報共有、意見の集約を積極的に行う
3. 関連部会や委員会との情報交換を密にし、部会での情報共有を行う

【その他】

1. 早稲田大学創造理工学部連携講座の実施（秋季を予定）

5 普及委員会

活動方針

MIDI 規格の正しい理解と普及を目的として、教育（MIDI 検定の実施継続）・普及（MIDI 規格委員会・会員各社との連携によるイベント等の実施）について、各委員会と連携し、計画・提案を行う。

事業計画

MIDI 検定事業

「委員会開催予定」

4 月開催：2022 年度活動内容の確認と対策

10 月開催：2022 年度 MIDI 検定 3 級、2 級 1 次筆記試験の応募状況と 2 級 2 次対策

「2022 年度 MIDI 検定試験」 オンライン試験

「第 14 回 MIDI 検定 1 級試験」 2022 年 8 月実施

「第 25 回 MIDI 検定 3 級試験」 2022 年 12 月実施

「第 24 回 MIDI 検定 2 級 1 次（筆記）試験」 2022 年 12 月実施

「第 24 回 MIDI 検定 2 級 2 次試験」 2023 年 2 月実施

「2022 年度指導者認定講座」 オンライン講座

「MIDI 検定 4 級指導者認定講座」 2022 年 5 月に開催

「MIDI 検定 3 級指導者認定講座」 2022 年 7 月に開催

「MIDI 検定 2 級指導者認定講座」 2022 年 9 月に開催

イベント事業

MIDI 規格委員会・広報委員会等と連携して、MIDI の普及イベントの計画・立案を行う。

6 広報委員会

活動方針

外部に対する情報発信機能を充実し、当協会の存在意義を広くアピールすると共に、会員に対する情報提供機能の充実により会員の連帯感を強め、当協会の積極的な活動を側面からサポートする。

活動計画

- ・会報「AMEI News」編集会議 3 回
- ・セキュリティ強化対策の検討会議 1 回
- ・サステナビリティ強化対策の検討会議 1 回

事業計画

1. 会報『AMEI News』の発行（事務局との連携により推進）
 - ・年 3 回（4 月、8 月、12 月予定）ホームページへの PDF ファイルの掲載
2. ホームページの充実（事務局との連携により推進）
3. セキュリティ、サステナビリティ強化対策の検討の実施（事務局との連携により推進）
 - ・個人情報保護対策の強化検討
 - ・クラウドサービスの可能性検討

MIDI 検定オンライン化への取り組みについて

MIDI 検定指導研究委員会 上杉 尚史

普及委員会 MIDI 検定担当の上杉です。昨年度の MIDI 検定実施報告時に記載させていただいた通り、現在 MIDI 検定試験は試行錯誤を繰り返しながら全グレードをオンライン試験化しております。元々 MIDI による楽曲データを提出していただく形式の 2 級 2 次試験、1 級試験の二つは課題データを郵送で受け取る形式でしたので、これをデータサーバーにアップロードしていただく形式に変更するだけで割とスムーズに移行できたのですが、毎年 12 月に行っていた筆記試験に関しては一筋縄ではいきません。今回は現在行っているオンライン化した筆記試験の実態と、そこに至った経緯などを簡単に説明したいと思います。

まず、今までの筆記試験はどのようなものだったのかを説明したいと思います。MIDI 検定試験が開始されたのは 1999 年の 1 月で、まもなく 24 年が経とうとしております。初年度は 3 級試験のみを実施し、翌年から 2 級試験を開始しました。MIDI というデジタル技術に特化した試験ではありますが、その試験方法はアナログそのもので、印刷された問題冊子を読み解答を解答用紙に記載するという方式を 20 年以上にわたり踏襲してきました。試験開始当初はコンピューターミュージックを専攻させる専門学校も数多く存在し、MIDI 検定試験を実施する学校様に在学生以外の受験者を受け入れていただく事で、全国の受験者に試験会場を提供できました。このため開始当時は 3 級試験で 2,000 人規模の受験者がおりましたが、大手音楽学校の廃校やコンピューターミュージック科の取りやめなど、時代の変化と共に 2017 年頃には 500 名程度まで受験者が減少しました。この時点では MIDI 検定に関する広報等が足りないのでは？という意見もあり、DTM ステーションに記事を掲載していただくなどいくつかの施策を行いました。翌年には若干の回復傾向となったものの、2020 年の春にはコロナ禍が始まり、2021 年 12 月の筆記試験においては一般受験者の試験を中止するなどさらに厳しい状況に追い込まれました。

そこで、これらを打開するために筆記試験においてもオンライン試験化できないかという模索を 2020 年から行いました。

まず、課題となるのがそのシステムです。大手コンピューター会社の事務系ソフト資格などは独自のオンライン受験システムが整備されており、回答時間の制限や前の問題に戻れないシステムなど様々な仕組みが取り入れられているのですが、これらを MIDI 検定で導入するとシステム利用単価が受験料を大幅に超えてしまう点がネックになります（実際に見積もりを取ると一人あたり 8,000 円ぐらいかかる計算でした）。また、いままで各専門学校の授業カリキュラムの一つとして MIDI 検定を導入していた学校において試験のみ自宅でオンライン化となると、合否実態の把握も含めて学校側の管理ができずに不都合があるという点も課題でした。

一つ目のシステムに関する問題は、外部の業者に依頼してシステムを構築するのは現実的では無いので、AMEI 内でできることを検討しました。その一つが動画による出題です。これは問題文と選択肢を動画にして配信し、受験者はそれをリアルタイムに見ながら解答用紙に回答

するというものです。試験中は ZOOM ミーティングなどのオンライン会議システムで受験者と試験監督者を繋ぎ、カメラをオンにして監視する方法を導入しました。実際に 4 級講座の試験で実施したのですが、問題が複雑になると飛ばして簡単な問題から解答したい人が出てくるので、好きなタイミングで飛ばした問題に戻れないという不都合に加え、カメラをオンにすることで受験者同士の個人情報保護できないという点も重なり要検討となりました。

そこで、試験開始直前にパスワード付の問題データをダウンロードさせ、試験開始と同時にパスワードを告知して問題ファイルを閲覧できる様にする形式を導入することにしました。試験問題は PDF ファイルで提供されるので、印刷された問題冊子を読むのと同様に好きな問題から解くことが可能になります。さらに ZOOM ミーティングをウェビナー形式にして受験者同士の機密性を担保することにしました。これで一つ目の問題点をクリアすることができました。

二つ目の問題に関しては、団体受験と呼ばれる専門学校での受験を残した形で、一般受験のみをオンライン試験にすることを検討しました。当初はオンライン試験と団体受験（印刷物の問題冊子による従来型の試験）の問題を違うものにして実施することを考えたのですが、問題制作費が二倍になってしまう点と、難易度に差が出てしまうのは良くないということで、最終的には問題を統一することに決定しました。しかし自宅で受験できるオンライン試験ではカンニングが容易に可能なのではないか？という問題が出てきてしまいます。すなわち問題が同じなら団体受験よりオンライン受験を選択した方が合格しやすくなるという想像ができてしまいます。この問題についてはかなりの論議を重ねたのですが、MIDI 検定試験は受験者を振り落とすための試験なのか、MIDI について詳しくなってもらいたい試験なのかという根本的なところに立ち戻り、MIDI について詳しくなってもらいたいならいっそのことガイドブックを持ち込み可にして受験に臨んでもらってはどうかという結論に達しました。しかし、ここでもう一つ問題が生じます。仮にガイドブックに過去の問題を手書きで転記してあった場合はどうなるのでしょうか？

これも色々と論議したのですが、そういった書き込みをすべて拒絶することは不可能なので、禁止をしない方向で対策を練りました。その結果としてたどり着いたのは問題文を大幅に変更するという方式です。

いままでの問題文は、

MIDI IN 端子は MIDI 信号を [a] ための端子です。[b] 端子はその M I D I 機器が受信した MIDI 信号をそのまま送り出す端子です。

[1] 受け取る [2] 送り出す [3] 混ぜる [4] MIDI IN [5] MIDI OUT [6] MIDI THRU

というような形式（上記問題文はガイドブックの一部抜粋）だったのですが、これを

一般的な MIDI 接続に関する説明として誤っているものを 1 つ選び解答用紙に番号で答えてください。

[1] MIDI IN に入った MIDI メッセージは、MIDI THRU から出力される。

[2] MIDI IN に入った MIDI メッセージは、MIDI OUT から出力される。

[3] MIDI OUT 端子は MIDI IN 端子と接続して使用する。

[4] MIDI THRU 端子は MIDI IN 端子と接続して使用する。

という形に変更しました。

これによって問題文が意味する状況をしっかりと把握しないと解答が出来ないことになり、結果としてその内容を理解していないと解答ができません。

単なる用語の解答であればガイドブックを丸写しで大丈夫ですが、仕組みを理解となると事前の勉強がものを言います。おそらく昨年12月の筆記試験では、ガイドブックを持ち込んだもののそれを開く余裕すらなかったのでは無いかと思います。

さらに解答用紙の提出についても不正を極力無くす方向でシステムを考案しました。現在の方法は、試験終了と同時に受験者が自ら記載した解答用紙を写真に撮り、サーバーにその場でアップロードさせます。これで、試験後に解答を改ざんすることを防止しており、後日郵送で送られてくる解答用紙の原本と比較確認をしてから答案用紙を採点するという方式を採用しています。

以上のような方式で筆記試験を擬似的にオンライン化しています。まだ、浸透していない部分もありますが、自宅に居ながらにして検定試験を受験できるということを少し広めることで、まずはコロナ前の受験者数に回復させたいと考えております。

以上 MIDI 検定における試験運営のオンライン化に関する説明でした。受験に関する物理的なハードル(試験会場に向かう…など)はかなり低くなっておりますので、皆様の周りで MIDI 検定に興味がある方がおられましたら、是非受験を薦めていただけると幸いです。

The screenshot displays the MIDI License Official Site. The header includes the MIDI logo and 'MIDI LICENSE OFFICIAL SITE'. The main content area is divided into several sections: 'MIDI検定試験スケジュール' (MIDI Exam Schedule) with links for 4th grade exams and instructor training; 'MIDI検定試験のご案内' (MIDI Exam Information) with links for 1st, 2nd, 3rd, and 4th grade exams; 'MIDI検定試験対策講座と過去問&解答' (MIDI Exam Strategy Course and Past Questions & Answers) with links for 3rd/2nd grade 1st/2nd exams and 4th grade exams; 'MIDI検定試験のガイドブック' (MIDI Exam Guidebook) with links for 1st/2nd grade exams and 4th grade exams; and 'MIDI検定試験認定指導者リスト' (MIDI Exam Certified Instructor List) with a link for the list. A central banner for 'MIDI2.0日本語版ドキュメント公開' (MIDI2.0 Japanese Version Document Release) is also visible.

The calendar shows the MIDI exam schedule for 2022-2023. The months are listed on the left, and the exam dates are shown on the right. The exams are categorized by grade and type (e.g., 4th grade exam, 3rd grade instructor training, 2nd grade exam, 1st grade exam, 3rd/2nd grade 1st exam, 2nd grade 2nd exam).

Month	Exam Details
1月	令和4年度 MIDI検定 4級試験 随時実施
2月	
3月	
4月	
5月	令和4年度 MIDI検定 4級指導者認定講座 2022-5/29(日): 14時~17時オンライン開催
6月	
7月	令和4年度 MIDI検定 3級指導者認定講座 2022-7/24(日): 14時~17時オンライン開催
8月	令和4年度 MIDI検定 1級試験 2022-8/5~8/15
9月	令和4年度 MIDI検定 2級指導者認定講座 2022-9/25(日): 13時~17時30分オンライン
10月	
11月	
12月	令和4年度 MIDI検定 3級/2級1次 2022-12/4(日)
	令和4年度 MIDI検定 2級2次試験 2023-2/18~2/20

お見舞い
一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆さまのご健康を
心よりお祈り申し上げます。

会員名簿

50音順 2022年6月22日現在

あ

- AlphaTheta 株式会社
- Apple Japan 合同会社
- アナログ・デバイス株式会社

い

- 株式会社インターネット

え

- 株式会社エクシング

か

- カシオ計算機株式会社
- 株式会社河合楽器製作所

く

- クリプトン・フューチャー・メディア株式会社
- クリムゾンテクノロジー株式会社

こ

- 株式会社コルグ

し

- 株式会社シーミュージック
- 学校法人尚美学園
- 株式会社シンクパワー

す

- 株式会社ズーム
- 株式会社鈴木楽器製作所
- 株式会社スリック

た

- 株式会社第一興商
- 大日本印刷株式会社 出版イノベーション事業部

て

- ティアック株式会社

な

- 株式会社 nana music

は

- バイオニア株式会社

ふ

- 株式会社フェイス
- 株式会社ぶらあぼホールディングス

や

- ヤマハ株式会社
- 株式会社ヤマハミュージックエンタテインメント
ホールディングス

ろ

- ローランド株式会社
- 〈正会員会社 26 社〉

* 賛助会員

- 中音公司 (中華人民共和国)
- 株式会社博秀工芸
- 株式会社ミュージックトレード社
- 株式会社リットーミュージック
- 〈賛助会員会社 4 社〉

MIDI LICENSE
令和4年度
「MIDI検定」
●ミュージッククリエイターの為の認定制度

受験案内

第25回 MIDI検定3級試験
第24回 MIDI検定2級1次試験

団体試験 令和4年12月4日(日)団体会場
3級試験 PM1:30~PM2:30
2級1次試験PM3:00~PM4:30

一般試験 令和4年12月4日(日)オンライン試験
3級試験 PM1:00~PM2:00
2級1次試験PM4:00~PM5:30

開催 2022・9/5(月)~10/31(月)

一般社団法人音楽電子事業協会

第11回通常総会議事録の開示について

AMEIホームページ <http://www.amei.or.jp/>の会員専用ページ
会員専用ページへのアクセスはID及びパスワードの入力が必要です。
お忘れの方はE-mailにて対応致します。

● 送付先: amei_info@amei.or.jp

● お名前、E-mail アドレス、会社名、所属、TEL、FAX を記入の上、お申込み下さい。

AMEI NEWS Vol.78 / 2022.9.30

一般社団法人音楽電子事業協会 機関誌

発行：一般社団法人音楽電子事業協会 事務局

〒101-0061

東京都千代田区神田三崎町 2-16-9 イトービル 4F

TEL.03-5226-8550 FAX.03-5226-8549

発行人：水野 滋

編集人：石黒士郎 (広報委員会)

編集協力：株式会社 博秀工芸

ホームページアドレス：

<http://www.amei.or.jp/>

